

「みちびき」を活用した被災対応ラジオ放送の公開実証実験の実施について

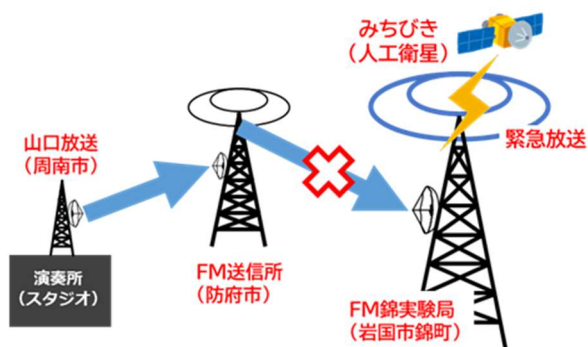
山口放送(株)(周南市)、日本通信機(株)(神奈川県)、山口大学工学部(宇部市)、山口県産業技術センターで構成するプロジェクトチームが提案した「「みちびき」災害・危機管理通報を活用した被災対応FMラジオ放送システムの実証」が、内閣府「2023年度 みちびきを利用した実証事業公募」に採択されました。その事業において、山口放送が保有する錦FM実験局(岩国市錦町)から緊急情報を放送し、運用を評価する公開実証実験を行いました。

1 日時等

- (1) 開催日 令和5年11月23日(木) 10:00-12:00
- (2) 開催場所 錦ふるさとセンター・山口放送(株)錦FM実験局(岩国市)
- (3) 主催 山口放送、日本通信機、山口県産業技術センター
協賛 山口県、岩国市

2 概要

南海トラフ地震のような大規模災害により、FMラジオ放送ネットワークの一部が被災した場合でも、人工衛星「みちびき」から受信した災害・危機管理情報を利用して、緊急放送を可能にするシステムの実証を、錦町広瀬にあるエフエム KRY の実験局で行った。実証では、FM放送が途絶した場合を想定して、緊急情報(警報発令・解除)を実験局から放送し、会場でその放送を試聴した。また、その状況をエフエム KRY で実況放送を行った。



実証したシステム概要



会場(錦ふるさとセンター)

※みちびきを利用した実証事業

準天頂衛星システム「みちびき」を利用した多種多様な製品・サービスが早期に提供される環境の整備のため、実際の利用環境を想定して行う実証事業(内閣府が公募)